

研究に関する公開情報

公立陶生病院 では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 穿孔性腹膜炎における検出菌の検討と抗菌薬選択の実際

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

■研究の背景・目的

消化管穿孔による腹膜炎は緊急性と重症度が極めて高く、迅速な外科的処置と適切な抗菌薬による治療介入が予後を左右する疾患です。多くの場合は大腸菌などの腸内に常在する細菌が原因となりますが、重症な方が多いため初期から広域な抗菌薬を選択して必要以上の治療をせざるを得ないことがあります。近年、広域な抗菌薬の使用で耐性菌が増えてきており、将来的に抗菌薬が使えなくなってしまうを防ぐために、菌を絞った適切な使用が推奨されております。そこで今回当院における穿孔性腹膜炎の患者さんにおける検出菌を解析して、どういった状況でどういった抗菌薬を使用すべきであるかを評価する事を目的としております。

■研究の対象となる方

2015年8月から2018年7月に公立陶生病院に受診もしくは入院した患者のうち、穿孔性腹膜炎の診断を得て手術治療を要した成人患者さん

■ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生理検査結果、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101

研究代表者 感染症内科 武藤 義和